

第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

令和元年10月7日（月） 5校時

1 単元名 お米博士になろう！2～お米の良さを広めよう・JPX（起業体験プログラム）～

2 単元目標

- 模擬会社の設立と商品の開発・販売を通して、集めた情報を関連付けながら課題を解決するとともに、物を作ることや働くことの大変さや楽しさに気付く、社会生活にはいろいろな役割があることや、その大切さに気付く。 （知識及び技能）
- 米の良さやおいしさを広めるために、資料を活用して情報収集をすることができる。また、情報を取捨選択し、自分の思いを明確に相手に伝えることができる。 （思考力・判断力・表現力等）
- 米の良さやおいしさを多くの人に知ってほしいという気持ちを持ち、その実現に向けて取り組むことができる。 （学びに向かう力、人間性）

3 つけたい情報活用能力

- 資料を効果的に示しながら、相手が納得できるようなプレゼンテーションをすることができる。 （まとめ、表現）
- 集めた情報を取捨選択し、お客さんに喜んでもらうための工夫を考える。（情報の整理、分析）

4 基盤（児童観省略）

- 日本の伝統的な日常食である米は、私たちの生活にとって欠かせない、当たり前の食べ物となっている。日本各地で米の生産がされ、その多くは作られた地域で食べられている。江津市では、給食もほぼ毎日米が主食であり、5年生の児童も米が大好きである。しかし、パンや麺類などの小麦を主食とした食文化の変化により、米の消費量と生産量は年々減少しており、米農家の後継者問題も大きい。以前はあちこちで見られた水田もずいぶん減ってきている。

1学期に行った「お米博士になろう！～お米の良さを伝えよう～」では、米の消費量と生産量が減少している問題から課題を設定し、もみまきや田植えの体験をしたり、学校図書館の資料から情報を集めたりしながら調べ学習を進めた。そして、米の良さを学校のみんなや家の人に知ってもらうために、伝えたいことを明確にしなが新聞にまとめた。並行して、社会科「私たちの生活と食料生産」でも、米作りについて学習している。米の生産にはたくさんの手間があることや、米農家の人の思い、努力、工夫や、これからの米作りについて考えている。2学期には、自分達で苗を植えた水田の稲刈りを体験したり、有機栽培で米を育てている農家の人の話も聞きに出かけたりする。こうした体験がこれまでの学びをさらに深いものにし、本単元への意欲も高まるだろう。

本単元では、米の良さをさらに地域の人に広めるという課題をもち、学習を進める。江津市社会教育課の協力により、JPX 起業体験プログラムによる地域の祭りでの模擬店出店を通して、それを実現できるようにする。

JPX 起業体験プログラムとは、児童が起業家としてゼロからビジネスを立ち上げる経験を提供する体験型の教育プログラムで、JPX（株式会社日本証券取引グループ）が、一般市場における「投資」という形をとって、資金を提供する。

はじめに株式会社の仕組みを知り、社長、副社長、会計、製造といった役割をそれぞれ分担して模擬会社を設立する。出資金を得るために、自分たちの会社の実現したいこと（地域の人に広めた

いこと)、また、どんな商品をどのくらいの経費でいくらで売るのがかといつたことについて、JPX 起業体験プログラム推進委員会にプレゼンテーションをして、出資金を得て仮想株式を発行する。出資金をもとに商品開発を行い、学校のすぐ近くの交流館で行われる地域の祭り「わたづまつり」での出店を行う。販売で得た収入は後日集計し、決算・会計監査を行う。実際に自分たちでお金を扱い、販売をして利益を得ることで、働いてお金を得ることの大変さと楽しさを味わってほしい。また、米農家の方から米を分けていただいたり、アドバイスをいただいたりと、1つの商品ができるまでにたくさんの人が関わっていることに気づき、周りの人への感謝の気持ちを持つことも期待できる。

わたづまつりは小さな子どもから高齢者まで、様々な人が訪れる。児童の思いを地域の人へ発信する場としては効果的な場である。米の良さを広めるために、商品の販売だけでなく、1学期に作成した新聞やパネルなども展示したい。児童が地域の祭りに主体的に参加して盛り上げることで、地域への愛着を深め、地域の人との交流の場になることを期待する。自分たちの商品を喜んでもらえたり、それに対して自分自身も喜びを感じたりすることで、地域の人とのあたたかいつながりが持てるであろう。

○ 指導にあたっては、児童の思考力・判断力・表現力を育成するために、以下の工夫や手立てを考えた。

(1) 単元構成の工夫

総合的な学習の時間を中心とした単元構想表(別紙)を作成し、各教科との関連を図る。その中でも特に、家庭科と国語科との関連を重視する。

家庭科「食べて元気!ごはんのみそ汁」では、日本の伝統食であるごはんの炊き方のみそ汁の作り方を学習する。普段から家庭で調理をする児童は少なく、家庭科の実習だけでは技能を身に付けるのには不十分である。また、「めざそう買い物名人」では、目的に合った計画的な買い物の仕方について学習する。同じ商品でも、値段や量、質といった様々な面からどれを買うのが良いか検討する必要があることを学習し、実際に模擬店の材料の買い出しに出かける。自分一人で買い物に行くことが少ない児童にとって、実際に買い物に行くという経験は重要である。家庭科で身につけた知識や技能が本単元で活かされることを期待する。

国語科「敬語を適切に使おう」では、敬語の役割や種類を知り、場面に応じた適切な使い方を学習する。接客をする際には、お客さんに失礼のないように丁寧な言葉を使わなければならない。模擬店には、高齢者から小さな子どもまで、様々な人が来店する。どのような態度や言葉遣いをすれば、相手に気持ちよく商品を買ってもらえるか意識をしながら接客をして欲しい。

(2) 学校図書館活用

主に、商品を考える際とプレゼンテーションで提示する資料を集める際に、図書資料やインターネットを使って情報収集を行う。児童はこれまで、集めた情報は情報カードに書いており、扱いには慣れている。本単元では、情報収集の前に著作権についての指導を行い、集めた情報を図式化して書く方法を提示する。図式化とは、情報のキーワードを書き、それを矢印や記号などでつないで分かりやすくまとめたものである。図式化することで、資料を丸写しするのを防ぐだけでなく、イメージとして自分の頭に残りやすくなる。情報を友達と共有する際にも、自分の言葉で話すことができるであろう。指導にあたっては、学校司書と適宜連携して行う。主に資料の収集や、個別指導が必要な児童に対しての支援をお願いする。学校図書館を活用することで、本単

元の目標を達成するための情報活用能力を育成したい。

(3) ルーブリックの作成

本校では、一昨年度より児童のメタ認知能力を育成する手段のひとつとして、ルーブリックによる振り返りを行っている。主に、国語科の「話すこと・聞くこと」の単元で活用しているが、1学期は総合的な学習の新聞づくりでも取り入れ、児童にとってはなじみ深いものとなっている。本単元でも、プレゼンテーションと模擬店当日について児童とともにルーブリックを作成し、振り返りに活用する。児童自らが目指す姿を考えることで、捉えにくい思考力・判断力・表現力の具体的な姿を常に意識して学習に向かうことができる。また、単に利益を上げることだけが目的ではなく、米の良さやおいしさがどうしたら伝わるのかといったことを念頭に置きながら学習を進めることができるのではないかと考える。

5 単元構想 (全30時間 本時 12/30)

		学習活動	学校図書館の活用
課題設定	①	もっと米の良さを広めるにはどうしたら良いだろう？ (7月下旬)	
	②	○1学期の学びを振り返り、地域の人に広めたいことを考える。	
	③	○株式会社の仕組みを知る。 ○模擬会社を設立して役割分担をする。	
情報収集	④	米の良さを広めるための商品はなんだろう？ (9月上旬)	情報カードの活用 インタビュー アンケート
	⑤	○どんな商品を販売するか、商品の候補を決める。	
	⑥	○商品の作り方、材料、経費を調べる。 ○図書館の資料やインターネット等を使ってグループごとに情報を集める。	
整理・分析	⑧	○集めた情報をもとに商品を決定する。	
まとめ・表現	⑨	どうしたら自分たちの思いが伝わるかな？ (9月下旬)	プレゼンテーション
	⑩	○プレゼンテーションのルーブリックを作成する。	
	⑪	○自分たちが売る商品について、プレゼンテーションの準備をする。	
	⑫	○模擬会社を設立するためにプレゼンテーションを行う。【本時】	
	⑬	○出資額を決定し、模擬会社を設立する。	
課題設定	家庭科	食べて元気！ごはんのみそ汁。(9月中旬)	
		○ごはんの炊き方とみそ汁の作り方を学習する。	
	⑮	商品の課題はなんだろう？ (10月上旬)	
	⑯	○商品を実際に作り、課題点や改善点を整理する。	
情報	⑰		
	⑱	○課題の解決方法を考える。 ○ふるさと支援センターめぐみの方にアドバイスをもらう。	インタビュー

収集			
整理・分析	⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どんなお店にしたらお客さんが喜んでくれるかな？（10月～11月）</div> <ul style="list-style-type: none"> ○模擬店当日のルーブリックをつくる。 ○模擬店の準備をする。 ○PR方法を考える。（ポスター、チラシなど） ○予行演習 	ポスター チラシ
まとめ・表現	家庭科	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">めざそう買い物名人（11月）</div> <ul style="list-style-type: none"> ○目的に合った計画的な買い物をする。（模擬店の材料の買い出し） 	
	国語科	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">敬語を適切に使おう（11月）</div> <ul style="list-style-type: none"> ○敬語の役割や種類を知り、場面に応じた適切な使い方を理解する。（接客の言葉遣いについて） 	
	地元催事	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わたづまつりでお店を出そう。（11月中旬）</div> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の祭りで模擬店出店をする。 	
	㉗ ㉘ ㉙ ㉚	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わたづまつりで自分たちが得たものは何だろう？（11月下旬）</div> <ul style="list-style-type: none"> ○決算・会計監査 ○手伝ってくれた人へ、感謝の気持ちを伝える方法を考える。 ○学習発表会で発表したいことを考える。 	

6 本時の学習（13/30）

（1）本時のねらい

○資料を活用しながら、自分たちの思いを相手に明確に伝えることができる。

（思考力・判断力・表現力等）

（2）本時の展開

	学習活動	教師の支援と評価規準（◎）
導入	1 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分達の会社や商品への思いを伝え、説得しよう。</div>	○ルーブリックを確認し、自分の目標を決める。
展開	2 プレゼンテーションをする。（7分間） 3 社会教育課の方（出資者）と JPX の人からの質問を受ける。 4 プレゼンテーションをする。（7分間） 5 社会教育課の方（出資者）と JPX の人からの質問を受ける。	○聞いているグループはどんな点に説得力があったかを評価する。 ○担当ごとに質問を予想し、答えを考えておく。 ○本当にできるか（実現性）、本当に売れるか（収益性）、売れなかったらどうするか（柔軟性）の3点について質問をしてもらう。 ○あらかじめ、予想される質問と、それに対する回答を考えておくようにさせる。 ◎資料を活用しながら、自分たちの思いを相

	<p>6 事業書の改善点を明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段についてと、時間についてうまく答えられなかったね。 ・値段を上げる方がいいと言われたけど、そうすると買ってくれる人が少ない気がするよ。 ・自分達だけでできるかどうか、もう少し検討が必要だね。 <p>7 改善点をグループごとに報告し出資金をもらう</p>	<p>手に明確に伝えることができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】プレゼンテーション、振り返り</p> <p>○言われたことをそのまま改善するのではなく、グループでしっかり話し合うように伝える。</p> <p>○各グループの社長が司会をする。</p> <p>○話し合いのこつ表を示し、みんなが納得できる話し合いができるようする。</p> <p>○会計部長が金額を確かめる。</p>
まとめ	<p>8 ルーブリックに振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出資金を大切に使って、いいお店にしよう！ ・うまく資料を使ってプレゼンテーションができてよかった。納得してもらえてうれしい。 	<p>○振り返りを交流し、次時への意欲付けをする。</p>

7 研究の視点

- ・プレゼンテーションの場の設定は、児童の思考力・判断力・表現力等を育てるものであったか。

8 プレゼンテーションのルーブリック

	S	A	B
資料の使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の色や大きさが見やすく、字数が少ない。(簡単) ・図や表、写真、イラストを使っている。 ・大切ところが効果的に強調されている。 ・質問された時の資料を作っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の色や大きさが見やすく、字数が少ない。(簡単) ・図や表、写真、イラストを使っている。 ・大切ところが強調されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の色や大きさが見やすい。 ・図や表を使っている。
話し方	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声ではっきりと、身振り手振りを入れて、丁寧な言葉づかいで話している。 ・表情が明るく、やる気に満ちている。 ・相手に伝わるように分かりやすく話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声ではっきりと、丁寧な言葉づかいで話している。 ・表情が明るい。 ・分かりやすく話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声ではっきりと、丁寧な言葉づかいで話している。 ・表情があまりない。 ・話が長く、分かりにくい。